

FREE <sup>JMUW</sup> vol.29  
Dec. 2017

# JAPAN MOVE UP WEST

SPECIAL FRONT INTERVIEW  
**EXILE TAKAHIRO**

SPECIAL INTERVIEW-1- SPECIAL INTERVIEW-2-  
土屋 太鳳 中原 麻衣

JAPAN MOVE UP special edition vol.14  
SPECIAL PHOTO REPORT

**E-girls**

鷺尾 伶菜/楓/須田 アンナ/山口 乃々華/武部 柚那

SPECIAL COLUMN  
**EXILE TETSUYA**

# OKAYAMA MOVE UP は、 JAPAN MOVE UP WESTへ

OKAYAMA MOVE UP実行委員会では  
「岡山県民が元気になる」「岡山県民が岡山を好きになる」「他府県の方々に岡山の良さを知ってもらう」事を目的とし、  
フリーペーパーの発行をはじめ、各種イベントを実施するなど  
エンターテインメントを中心に岡山を盛り上げる活動を行ってきました。

## 「日本を元気にする為に！」

新たなムーブメントを起こすべく『JAPAN MOVE UP WEST』として中四国エリアへ活動を拡大。  
子供たちに「夢」を、若者に「憧れ」を、社会人に更なる「成長」を与え続ける…  
それが企業を、街を、発展させ岡山から中四国へ、そして日本を元気にしていく事だと確信します。  
さらに今まで通り、TOKYO MOVE UPと各エリアの連携によるネットワークを生かしたコンテンツを創造し、  
「認知の拡大と巻き込み」を実現します。また地方創生のモデルのひとつとして、  
「社会的活動」と「エンターテインメント」、「スポーツ」の融合によるプロジェクトを発信していきます。



JAPAN MOVE UP WEST 実行委員会 加盟企業一覧 (2017年12月11日現在)



JAPAN MOVE UP WEST 賛同企業加盟・その他お問い合わせは右記まで JAPAN MOVE UP WEST 実行委員会運営事務局(株式会社HEADLINE WEST / TEL:086-250-8089)

## JAPAN MOVE UP WEST

隔月誌【ジャパムーブアップウエスト】2017年12月11日発行 vol.29 December

●発行人/源 真典(株式会社HEADLINE WEST) 一木 広治(株式会社ヘッドライン)  
●発行所/株式会社HEADLINE WEST  
〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビルディング1F TEL:086-250-8089



A black and white portrait of EXILE TAKAHIRO, looking slightly to the left of the camera. He has dark hair and is wearing a dark jacket. The background is a plain, light grey.

# EXILE TAKAHIRO

Special Interview

待望のソロ作品『All-Time Memories』をリリース

EXILE TAKAHIROがミニアルバム『All-Time Memories』をリリースした。

「ずっと聴き続けてもらえる作品を作りたい」と制作したという本作は、  
ボーカリストとしての彼の本領を存分に聴ける作品。

クリスマスソングがエンドレスに聞こえてくる街を歩きながら、  
時も場所も選ばない、EXILE TAKAHIROの歌声に耳を傾けたい。

ソロ活動は約2年ぶり。「またソロ活動をしたいなって昨年秋ぐらいから準備を始めた」とEXILE TAKAHIRO (以下、TAKAHIRO)は言う。

「曲や詞を書いたり集めたりしながらコンセプトを作ったほうが良いということになって、親父が車で聴いている音楽を思い出したんです。年中同じCDが入っていて、ずっと同じものを聴いていて、好きだからだと思うんですけど、“飽きずに”ずっと楽しんで聴き続けているんです。自分もそんなふうにずっと……、1年を通して聴いてもらえる作品を作りたいと思ったんです。四季を感じながら、いろんな思い出とともに曲も育っていったら、うれしいですね」

**EXILEが2018年まで充電期間に入ったこともまた、ソロ活動へと向かわせた。自分自身がしたいこと、自分の中から湧いてくるコードや言葉を曲にしていたという。**

「作詞や作曲は前から興味があったんですが、これまではその余裕がなかった。EXILEの活動がいったん落ち着いて時間に余裕ができたことで、部屋でギターを弾いているといいコードが見つかったりして……。最初はバラードばかり作っていて、バラードが大好きだから。バラード特集みたいな作品もありかなとも考えたんですけど、EXILEでの経験からいってもバラードベストみたいな作品ならマッチングすると思うんですけど、オリジナルアルバムで全部バラードというよりも、プロデューサーの亀田さんともディスカッションを重ね、収録曲それぞれが互いに引き立てあえるような作品にしたほうがいだろう、と。刺激的な曲、遊び心のある曲、はたまたダークな曲だとか、いろんなジャンル

と幅をお見せできていると思います」

ジャンルやテイストの違う楽曲群を1つの作品にまとめる。そこで、亀田誠治とタッグを組んだ。亀田は自らアーティストとして活動しながらも、椎名林檎、平井堅、いきものがかりなど数多くのアーティストを手掛ける今のJ-POPIには欠かせない音楽プロデューサー。「あこがれでもあり尊敬していた人。いつか一緒にできればいいなと思っていた」と本人。また「最高のアルバムを作るなら亀田さんだと思った」とも。

「この作品をお願いしたことがお会いできたきっかけで、本当に“はじめまして”でした。でも、……僕が言うとおこがましいんですけど、感覚がすごく合うというか、相性がいいなって勝手に思っています。自分が作った曲の意図しかり、どこに向かいたいのか、自分にはどういう景色が見えているのかとか、そういうものをイメージで伝えると、亀田さんはイメージどおりに具現化してくれるんです。気さくでフラットな方なので、アイデアも聞いてくれて、すごくやりやすかったです」

**収録曲の『Alone』や『BLACK BEANZ』のように、亀田の作業場を訪ね、2人で制作した曲もある。**

「音作りを、一から一緒にやることができました。アルバム全部が生音なのでリズム録りから参加できましたし、サクセスも肌で感じながら、完成に向かうことができました。とても充実した制作期間でした」



# EXILE TAKAHIRO

# 1年を通してずっと聴いてもらってる 作品を作りたいと思った。

ミニアルバムには7曲を収録している。「生きている音」へのこだわりもあって全部生音。どの曲も魅力を放っている。なかでも『SUNSET KISS』の完成度には、TAKAHIROも驚いたという。

「オーガニックな曲にしたいと思っていました。ハワイのイメージで、いい意味で、耳を傾けなくてもずっとなってくるような曲にしたい。ジャック・ジョーンズのような。そのイメージを亀田さんに伝えたとこ、すごいものが出来上がってきたんです。オーガニックで、音数も多くなくて、日本語がちゃんとまわっている。その塩梅がすごいんです」

オーガニック、音数が少ない——。EXILEがやっていることとは正反対でもある。やはり、ボーカリストとしては、シンプルな楽曲への渴望みたいなものがある？

「歌手としてだけで考えると、正直なところ、シーケンスが多いと多少なりとも歌いづらいついていうのはありますよね(笑)。ソロでやるにあたって、思う存分、自分の色を生かしたほうが楽しめる方向の音作りをやってもらっています」

ロックやロカビリー調の楽曲もある。TAKAHIROのボーカルが存分に堪能できる解放感のあるロックナンバー『Irish Blue』はGLAYのTAKUROが書き下ろしている。

「TAKUROさんには、直接お願いしました。GLAYさんならではのキャッチーさのある曲を歌ってみたいという思いからで、『BELOVED』『グロリアス』『a Boy〜ずっと忘れない〜』『都忘れ』を例

に挙げて。この曲をいただいた時には、めちゃくちゃうれしかったですね。歌詞もまだ自分では手を付けられない平和だったりして。水を得た魚じゃないですけど、早くライブで歌える日がくるといいなと思っています」

2017年は、さまざまなインプットがあって、収穫の年だったという。

「いろんな仕事をさせてもらいましたが、一つひとつに集中できて、感覚的に、表現的に収穫があったと思います。舞台『MOJO』では、30公演もあったし、たくさんのヒントをもらえました。それに『BLACK BEANZ』は『MOJO』がなかったらできなかった曲。でも何よりも、あの舞台では“TAKAHIROじゃなかった”って感想をいただけたのがすごくうれしかったですね」

2018年はEXILEが始動する。

「今思うのは、楽しめたらいいなってことですね。これは僕自身のことになりますが、今まで使命感や責任感にとらわれていた時期が続いていたんです。気づけば周りは後輩ばかりで、EXILEには新メンバーも増えて、そのなかでボーカルとしてもきちんと立たなければいけない。お金を払って見に来てくれる人がいるんだから！って。自分が楽しむことよりも、やらなきゃいけないことばかりが先行していました。でもまずは自分が楽しみたいと」

先日、そのために準備を始めるメンバーの様子がSNSで紹介された。EXILE TAKAHIRO、そして2018年のEXILE。楽しみにしたいことばかりだ。

撮影・仲西マティアス／スタイリスト・野口強／ヘア・後藤順(太田事務所)／メイク・FUSAKO(太田事務所)

# Mini ALBUM All-The-Time Memories NOW ON SALE

rhythm zoneより発売中。

【CD+Blu-ray盤】3800円、【CD+DVD盤】3000円、【CD only盤】2000円(すべて税抜)。

DVDとBlu-rayには『Eternal Love』のショートフィルム(約30分)のほか、

『Irish Blue』『memories』のミュージックビデオ、

THE NINE WORLDS presents『九楽舞 博多座』ライブ映像も収録。

作品の詳細およびEXILE TAKAHIROの最新情報は(<http://exile.jp/>)。

## 【CD収録曲】

- 1.Eternal Love
- 2.Irish Blue
- 3.memories
- 4.Alone
- 5.SUNSET KISS
- 6.BLACK BEANZ
- 7.春へ

## 【DVD/Blu-ray】

- memories(Music Video)
- Irish Blue(Music Video)
- BLACK BEANZ(Music Video)
- Eternal Love(Short Film)
- 〈HIGH&LOW THE LIVE@京セラドーム大阪〉
- TIME FLIES/ACE OF SPADES×PKCZ® feat.登坂広臣
- 〈THE NINE WORLDS presents『九楽舞 博多座』ライブ映像〉
- GLORIA
- 以心伝心
- You
- 運命のヒト
- Together
- Choo Choo TRAIN



〈初回限定盤 CD+Blu-ray/DVD〉



〈通常盤〉



『8年越しの花嫁 奇跡の実話』

# 土屋太鳳

Special Interview

“8年越しの結婚式”を挙げた岡山県のあるカップルの挙式映像がYouTubeで投稿されるや、8年越しとなった理由に秘められた驚きのエピソードは瞬間に拡散され、多くのメディアで紹介。日本中の感動を呼んだ。そんな奇跡の実話を、『64-ロクヨン-前編/後編』の瀬々敬久監督がメガホンをとり、佐藤健、土屋太鳳という豪華キャストで映画化。恋する女子高生からアクション満載の役どころまで幅広い役をこなす土屋太鳳が、心からの愛情を持って本作を語る！

## 土屋太鳳“奇跡”と出会う！

恋人の尚志との結婚式を前に300万人に一人という病を突然発症し、昏睡状態に陥ってしまう麻衣。やがて意識は回復するものの、長いリハビリ生活、そして2人にとってのさらなる試練が待っていた…。

岡山県に暮らす中原尚志さん、麻衣さん夫婦の実話を記したノンフィクション『8年越しの花嫁 キミの目が覚めたなら』を映画化した本作。土屋太鳳が挑むのは、想像を絶する体験を経て奇跡の愛を実現させた中原麻衣さんをモデルにした主人公・麻衣。実在の女性を演じることの難しさはどう向き合ったのか。

「実在の人物をモデルにしているといっても歴史上の人物を描いた作品の場合とはまた違って、本作のモデルとなった麻衣さんは私と同じこの時代を生きている方です。だから私が演じることによって麻衣さんはもちろん、ご家族や周りの方々へも影響があることを考えないといけないと思いました。今回は、同時代に生きる方をモデルに演じることの責任の大きさを強く感じましたね。でも、自分が麻衣さんと尚志さんへの思いを一番大切にしていれば、実際に麻衣さんたちを知らない人にも麻衣さんの素敵どころや麻衣さんが伝えたい思いを知ってもらえるかもしれない。自分を通して麻衣さんのことを伝え

たい、その一心で役に挑みました」

撮影前、岡山県で暮らす中原さん一家に会う機会を得た。

「その時は、闘病生活や結婚式の様子など、尚志さんが撮り続けた麻衣さんのビデオと一緒に拝見させていただきました。あと麻衣さんと一緒にハンバーグを作ったり、お子さんと遊ばせてもらったりしました。いろいろ話を聞くよりも、一緒に過ごしたこの時間が麻衣さんを知るうえで大きかったと思います。ただ一つ、麻衣さんに“この作品で何を伝えたいですか”と尋ねたところ“愛情”を伝えたい、とおっしゃっていたのが印象的でした。“私はこれほどの愛情をもって支えてくれた人がいたから頑張れた、だから愛情を大事にしてほしい”と。麻衣さんにお会いして感じたことは、生きていることは素晴らしい、ということ。もちろんこれまでもそう思っていました。生きていることそのものが奇跡なんだと強く感じたんです」

中原さん一家への思いを熱く語る。「麻衣さんと尚志さんって、すごく穏やかで笑顔が素敵なんです。お会いして、麻衣さんたちのために、自分を通してこの物語を多くの人に伝えたいと改めて思い、その一心で演じました。麻衣さんご一家に会えたことが演じるうえで一番の支えになりました」

## ともに挑戦する仲間がいる幸せ

しかし麻衣の過酷な運命を演じるのは並大抵のことではなかったはず。

「確にお芝居とはいえ、闘病中の場面の撮影は私自身とてもつらいものがありました。麻衣さんは意識が回復した後にリハビリ生活に入るんですが、当時、麻衣さん自身はリハビリをするぞ、がんばるぞという意識がなく、そのころの記憶も無いんだそうです。そういう状態の麻衣さんを演じるのは、どこに心を向ければいいのかということも難しかったですね。でも麻衣さんが命をつかむために実際に歩んだ過程を私もたどろうと必死でした。麻衣さんの想像を絶するような体験をたどり、生きていることが奇跡なんだ、と心から思い、同時に自分はどう生きていきたいのか、そんなことも考えるようになりました」

昏睡から回復し始めるまでの時期は特殊メイクで演じなければならなかった。「闘病シーンは麻衣さんからその時期のDVDをお借りして拝見しましたが、本当に壮絶なものだったんだと改めて感じました。私も4時間かけて特殊メイクをしてもらったんですが、メイクに加え鼻や口にも管を装着するので息は苦しく、ずっと足を上げているので貧血気味になったりもしました。でも本当の病院で撮影させていたでいていたので、本物のお医者様が何か

## 『8年越しの花嫁 奇跡の実話』

監督：瀬々敬久 出演：佐藤健、土屋太鳳、北村一輝、浜野謙太他／1時間59分／松竹配給／12月16日より全国公開 <http://8nengoshi.jp/> ©2017 映画「8年越しの花嫁」製作委員会



あれば対応できるよう見守ってくださっていたんです。協力してくださった方やスタッフの皆さん、本当に多くの方に支えていただいたので、大変だった場面の撮影を振り返っても私自身がつらかった思いより皆さんに助けていただいたことが思い浮かぶんです」

何より根底にあったのは麻衣さんへの思いだった。

「撮影に入る前、原作や台本を読み監督や麻衣さんとお話したときから、この作品は感動するだけの映画ではないと思っていました。麻衣さんたちの壮絶な戦いは、私たちには到底実感できないことです。それだけに、役作りはどうやったとか、そんなこと話すこともおこがましいように思えるんです。そのうえで作品とどう向き合うかを考えたとき、やはり麻衣さんたちのことを一番大事にしたいと思いました。麻衣さんたちの物語を多くの人に伝えたい。その思いを支えに闘病生活のシーンも乗り越えることができたんです」

実際の麻衣さんと会ったことで、芝居へのアプローチを変えた部分もあるという。

「麻衣さんは、とても器の大きい方なんです。すごくかわいらしくて女子力があるのに、豪快さもあって。よく笑うしツッコむし（笑）。何より、相手のことを思いやるのが自然にできる方なんです。お会いした後もメールのやりとりをさせていただいたんですが、メッセージの文面からも私を気遣ってくださっているのがすごく伝わってくるんです。そんな麻衣さんの人柄も伝えられたらと思い、麻衣さんとお会いした後に、お芝居を少し変えてみたいと相談したら監督も尚志さん役の佐藤健さんも同じように思ってくださっていて。一緒に同じ思いで芝居を作ってくださいました」

尚志を演じた佐藤健の存在も大きな支えとなったようだ。

「17歳の時に共演させていただいてからずっと“健先輩”と呼ばせていただいているんですが（笑）、今回は台本を読んだ時点で思うことがあると健先輩に“この場面はこう演じてみたらどうかと思うんですが”とよく相談させていただきました。私のような後輩にもまったく同じ目線で芝居のことを一緒に考えてくださって、練習にも付き合ってくださいって、すごく支えていただいたと思っています。健先輩の

持つ作品への愛情、尚志さんや麻衣さんへの愛情を強く感じました」

温かな人間ドラマに定評のある瀬々敬久監督。

「現場では、監督は照れ屋さんなんだなと思うことが多かったんです（笑）。そんな監督ご自身のお人柄が、映像になったときに、より深く優しさや温かさを感じる作品にしているのかなと思いました。瀬々監督の作品らしい優しさに満ちた、命と向き合う作品になったと思います」

### 現地ロケではラン出勤!?

岡山や小豆島でのロケ風景も作品に温かさをまわしている。

「岡山ロケでは、ホテルではなくアパートに宿泊させてもらっていて、それが駅まで4キロほど離れているんですが、毎日のように往復8キロをランニングで通ったりしていました。路面電車とすれ違うのが楽しめでしたね。アーケードや商店街とか、撮影した場所もランニングのルートだったんですけど、住んでいるみたいに街の空気感を感じることができて、楽しかったです。地方ロケってけっこう好きなんです。地方のほうが好きかも（笑）。東京にいると一つの仕事が終わると次のお仕事に行かないといけないことが多いですけど、地方ロケの間は一つの作品に集中できるのがいいですね」

土屋が今も大切にしているものを見せてくれた。かわいらしくデコレートされたフォトフレームに入った、土屋と中原さん一家との写真。

「このフレームは麻衣さんが作ってくださいました。こういうかわいらし

い方なんです（笑）。最初にお会いしたときに一緒に写真を撮らせてもらったんですが、次にお会いした時に“初めてこういうの作ったから上手じゃないけど、どうしても渡したくて”と、これをプレゼントしてくださいました。最後の撮影の日も麻衣さんたちが現場に来てくれて、終わった後に一緒に撮った写真も大切にしています。撮影を終えた今も写真を見るたびに、責任の大きな役だったけど、麻衣さんたちのような人と出会えたことを心から幸せに思います」

尚志が撮り続けた映像が、2人にもたらす最高の奇跡とは…。

「麻衣さんと尚志さんに起きたことはまさに奇跡ですが、ご本人たちは本当にごく普通の温かいご夫婦なんです。ということは、誰の心の中にも2人のような奇跡を起こすほどの愛情があるんじゃないかな、と思うんです。実際の映像が麻衣さん、そして多くの人に感動を与えたように、この映画を通して2人の物語がより多くの人に伝わたらいいなと思っています。私自身は、自分の作品は客観的に見るのがなかなかできないので、ドキドキしっぱなしなんです（笑）」

いつか結婚するときは和装とドレス、両方着たい、と照れながら語る土屋。奇跡を起こした花嫁姿で、日本中に感動のブーケを贈ってくれる。



――映画『8年越しの花嫁』が映画化されますが、この物語で麻衣さんが感じて欲しいこと、伝えたいことは何でしょうか？

中原麻衣（以下、麻）：やっぱり何事も諦めないことですね。今私がここにいるのは、私が頑張ったからというよりも周りの人みんなが諦めないでいてくれたからだと思うんです。

麻衣さんの母：あの頃は携わってくださった方がみんな一生懸命同じ方向を向いてくださっていたんです。当時、麻衣が一番回復する時に1人4週間ずつ看護学生が実習を引き継いでくれて、「チーム麻衣」として頑張ってくれたのですが、その子たちは今地元に戻ったりして全国各地にいますので、会えない分、映画を通してその人たちに「あの時の麻衣がこんなに元気になったんだよ」、「みんなのおかげだよ」ということも伝えられたらなと思います。

麻：その当時の看護師さんや看護学生さんが今でもメッセージをくれるんです。私はその当時の記憶はなく、元気になってからもお会いしたことは無いのですが、お母さんや尚志（ご主人）から話を聞きました。だから、そういう人も含めて、今岡山にいる人も県外にいる人も、お父さんやお母さんや尚志、私の家族を支えてくれた全ての人に見てもらいたいですね。

――麻衣さんと尚志さんの結婚式の様子が動画の中でもすごく印象的だったのですが結婚式の日はどうな日でしたか？

麻：結婚式の日には本当に楽しくて楽しくてずっと笑ってました。近所のお世話になったおばちゃんとか色々な人が来てくれていたんですけど、「あんたよりうちの方が泣いとったわ」と言われるくらいずっと笑ってました。音楽もプランナーの久保田さんが私の好きな曲を選んでくれていたりして本当に楽しくて。幼稚園からの友人にスピーチをお願いしたんですけど、そのスピーチを聞いた時が一番泣いてましたね。

――結婚式の日、改めて尚志さんに思ったことはありましたか？

麻：その日は本当に二人とも楽しいっていうのが大きくて。もともと尚志は結婚式はしたくないと言っていたし、当初はお披露目という小さいレストランパーティーぐらいの予定だったんです。でも、「まあ見に行ってみようか」という気持ちで8年前に予約したアーヴェリール迎賓館に行った時、そこで担当の久保田さんから「結婚式というのは、お世話になった方に感謝の気持ちを伝える、お披露目するという場でもあるんです」という言葉を聞いてあの日を迎えることになった。「やっとここまでたどり着いた」と、そう感じたように思います。

――麻衣さんにとって息子：碧和くん（あいとくん）の存在は？

麻：まだ2歳なので分からないこともたくさんあるとは思いますが、多分あの子なりにママが不自由なのは分かっている

支えてくれた全ての人に届いて欲しい。  
「麻衣、こんなに元気になったよ！」



――家族、子育てとは？

麻：子育ても日頃はお母さんやお父さんに手伝ってもらうこともあるし、碧和はこの家では一人っ子だけど、私の姉のところには3人、妹のところには2人子どもがいてしょっちゅうこの家に集まってくれるんです。碧和は子ども6人の中で揉まれているので一人っ子のように一人っ子ではない感じですね。私よりも妹の方が子育てに関しては先輩なので、怒り方とかも妹の方が上手。私は結構放任主義というか好きにしてくれれば良いという感じなので（笑）だから私の家族はすごく大きな家族です。小さく分けると3人家族ですが、碧和はみんなに育ててもらっていますね。

――麻衣さんの夢を教えてください。

麻：今でもリハビリは続けています。まだ思うように歩けないのですが、どこまでどうなるかは分からないけどめっちゃくちゃ足が速い碧和と同じように一緒に歩けるようになりたいと思っています。

## SPECIAL INTERVIEW

# 中原 麻衣

映画『8年越しの花嫁』の物語のモデルとなった岡山県在住の中原麻衣さん。出会う全ての人を明るいオーラで巻き込む素敵な笑顔を持つ彼女が8年間を振り返って感じることを、子育て、母と娘、家族の絆をインタビュー。



photography : 古川 正人 (+huit プラス ユイット)

# 11.19 E-girls



11月19日（日）、イオンモール岡山 1F 未来スクエアにてラジオ公開収録《JAPAN MOVE UP -special edition vol.14-》が開催されました。ゲストには、12月6日にニュー・シングル『北風と太陽』をリリースしたE-girls から鷺尾伶菜さん、楓さん、須田アンナさん、山口乃々華さん、武部柚那さんが登場。オープニングアクト終了後、『北風と太陽』が流れ、メンバーが登場すると会場は歓声に包まれました。週末開催ということもあり、お子さま連れのファミリーや学生など多くのお客さまで会場全体が盛り上がった1日となりました。

photography : 古川 正人 (+huit プラス ユニット)

JAPAN MOVE UP -special edition vol.14  
**PHOTO REPORT**



**JAPAN MOVE UP supported by TOKYO HEADLINE**

**日本を元気に!!** TOKYO FM (80.0MHz)  
 毎週土曜日 21:30~21:55

「日本を元気に!」をテーマに、毎回各界の著名人をゲストにお招きし、元気になるためのトークをしています。リスナーの方が思わず元気になれるトーク満載で、東京で絶賛放送中です。

<http://www.jfn.co.jp/moveup/> 今回の収録の様子は、Podcastにてノーカット版 配信中!!



**THANK YOU**

**11.19**  
JAPAN MOVE UP  
special edition vol.14



special guest  
**E-girls**

**EVERYONE!!**



MOVE UP GIRLS FROM

# STUDIO MOVE UP

Report

今までにない、最高の時間でした!!



公開収録のオープニングアクトとしてSTUDIO MOVE UPの生徒が参加!!



11月19日(日)、イオンモール岡山 1F 未来スクエアにて開催されたラジオ公開収録《JAPAN MOVE UP-special edition vol.14-》に、STUDIO MOVE UPの生徒がオープニングアクトとして参加しました。当日はスダンナユズユリーの『OH BOY』や E-girlsの『Love☆Queen』などの楽曲を含めたメドレーを披露!前座として会場を大いに盛り

構成や振り付けも6人で考え、毎日練習を積み重ねて本番に挑みました。たくさんのお客様を前に緊張もありましたが、会場のあたたかい声援や手拍子を追い風に、練習の成果を十分に発揮できた笑顔いっぱいのステージとなりました。STUDIO MOVE UPでは、今後も生徒による様々なイベントのオープニングアクトなどに出演していく予定です!是非、チェックしてくださいね!

photography : 古川 正人 (+huit プラス ユイット)

JAPAN MOVE UP WEST PRESENT'S

# MOVE UP MOVIE

powered by



人生が「アがる」作品を、あなたに。

## 『NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン』作品特集

今月号は話題作「怪盗グルーのミニオン大脱走」が2017年12月6日にリリースされることを記念して、『NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン』作品を大特集！コメディ・アクション・ラブストーリー・アクション・SFなど、オールジャンルで魅力的な作品ばかり！ぜひこの機会にご覧になってみてください！



Title  
**怪盗グルーのミニオン大脱走**

Maker  
NBCユニバーサル・エンターテイメント

Comment from TSUTAYA

**愛すべきおバカ**

2017年日本公開洋画アニメーション興収No.1と飛ぶ鳥を落とす勢いのミニオンの可愛さだけで十分なのですが、今回は大悪党っぷりで暴れてくれています。難しいことは考えずに、感じる映画なので、頭空っぽにして笑って楽しんでください！劇中の音楽も選曲がナイス！

©2016 Universal Studios. All Rights Reserved.



Title  
**ミニオンズ**

Maker  
NBCユニバーサル・エンターテイメント

Comment from TSUTAYA

**ミニオンの正体が明らかに！**

本作の主役はグルーではなく、国民的人気キャラに進化したミニオン！最初はなかなか見分けのつかないミニオン達もケビン、スチュアート、ポプと3人の個性的なキャラクターたちの可愛らしさとユニークさで魅了するのが本作の最大の見どころ！ミニオンが大好きになること間違いなし！

©2015 Universal Studios. All Rights Reserved.



Title  
**ザ・マミー / 呪われた砂漠の女王**

Maker  
NBCユニバーサル・エンターテイメント

Comment from TSUTAYA

**"ダーク・ユニバース"第一弾！**

ユニバーサルの巨大プロジェクト"ダーク・ユニバース"の第一弾はトム・クルーズ主演のアクション最新作！モンスターを相手に『ミッション:インポッシブル』を髣髴とさせるアクションシーンが連続します！第2弾以降の作品にはジョニー・デップ等、ハリウッドスターの出演予定ですよ！

©2016 Universal Studios. All Rights Reserved.



Title  
**トランスフォーマー / 最後の騎士王**

Maker  
NBCユニバーサル・エンターテイメント

Comment from TSUTAYA

**破壊王マイケル・ベイ！**

監督マイケル・ベイと製作総指揮スティーブン・スピルバーグが総製作費240億でお届けする大スペクタクル・アクション・アドベンチャー超大作！今回は前作よりもさらに強力で破壊的なトランスフォーマーが登場！陸・海・空・宇宙さらには太古の歴史と予想をはるかに超える空前絶後の展開に注目！

©2017 Paramount Pictures. All Rights Reserved. Hasbro, Transformers and all related characters are trademarks of Hasbro. ©2017 Hasbro. All Rights Reserved.

12/13  
レンタル開始



Title  
**フィフティ・シェイズ・ダーカー**

Maker  
NBCユニバーサル・エンターテイメント

Comment from TSUTAYA

**世界中の女性を虜にした話題作！**

全世界で累計1億部を超える大ベストセラー小説の映画化続編！第2弾である本作は、よりゴージャス、よりエロティック、よりミステリアスに仕上がっています！恋愛ドラマから恋愛サスペンスへと進化ならぬ"深化"するアナと 그레이の世界を堪能してみてください。

©2016 Universal Studios. All Rights Reserved.



Title  
**マリアンヌ**

Maker  
NBCユニバーサル・エンターテイメント

Comment from TSUTAYA

**ブラッド・ピットが運命に抗う！**

極秘諜報員の男とレジスタンスの女、が運命に抗う二人の、緊迫と衝撃のスパイ・サスペンス！監督は『バック・トゥ・ザ・フューチャー』で知られるロバート・ゼメキス。ハリウッドを代表する二人が待望のタッグを組んだことでも話題になった極上のエンターテイメントです。

©2016, 2017 Paramount Pictures.



Title  
**ペット**

Maker  
NBCユニバーサル・エンターテイメント

Comment from TSUTAYA

**お行儀よく留守番してる…とは限らない！**

ユニバーサル・スタジオが贈る『ミニオンズ』に続く大ヒットアニメはイルミネーション作品ならではの、たまらなくキュートなキャラクターたちが大活躍！ハラハラドキドキの対決劇を中心に仲間との友情、困難を乗り越える勇気の物語は、誰もが楽しめる感動のストーリーです！

©2015 Universal Studios. All Rights Reserved.



Title  
**マンチェスター・バイ・ザ・シー**

Maker  
NBCユニバーサル・エンターテイメント

Comment from TSUTAYA

**人生の真実に溢れた傑作！**

兄の死をきっかけに巻き起こる主人公の過去からの再生を、丁寧に優しく描き、観る者の心につまでも寄り添い続けるような映画。主人公リーの孤独と哀しみを体現し、アカデミー賞をはじめとする40以上の主演男優賞を総なめにしたケイシー・アフレックの名演も要チェックです！

©2016 K FILMS MANCHESTER LLC. All Rights Reserved.

先日、神戸から始まった EXILE THE SECOND LIVE TOUR 2017-2018 [ROUTE6・6] は、初日が始まるまで本当にドキドキしましたが、なんとか無事にツアーがスタートし、神戸公演と長野公演を無事、成功する事ができました。しかし何度ツアーをやっても初日の緊張感で特別なワクワクがありますね。今までスタジオで、映像はこんな世界観でとか、衣装はこーだとか、演出はこのタイミングのほうがいいとか、この照明は何色だとか、立ち位置はこっちのほうが見えやすいとか、歌や DANCE だけではなく、各セクションのプロのスタッフさんたちと、話し合いながら一つ一つ丁寧に創り上げてきたものを生み出して、初めて皆様の前に披露するこの緊張感は毎回、初日が MAX です(笑)。でも今年もたくさんの笑顔と出会うことができ、これから日本全国を端から端までお騒がせする旅をしたいと思っています。

今回のツアーは『ROUTE6・6』というタイトルの通り、EXILE THE SECOND 6人の在り方やグループの存在意義、メンバーの想い、男としてそれぞれのこれからの生き様などを、エンターテインメントとしてステージで表現できればと思い、作らせていただきました。

全体的な音楽は SHOKICHI が軸となり NESMITH やバンドメンバーがあの手この手で流れを作り、最高にファンキーで意味深いセットリストになりましたし、そこに演出やそれぞれの ROUTE をみんなで付け加えて、EXILE THE SECOND らしく、それでいて EXILE らしいステージを作る事ができました！

そして、僕が表現したい ROUTE ってなんだろうと考えた時に、今までもこれからも自分が携わっている全ての活動の中心にあるのはやはり DANCE なんだと改めて感じました。DANCE を始めて、EXILE になり、先輩である USA さんと DANCE で EARTH を HAPPY にするためにはどうすべきかを考えて、舞台上で Shizuka ちゃんに会い、DANCE EARTH PARTY とは本当に幸せで、ステージで踊る機会も増えますし、そのグループや曲にあった表現の仕方を模索できて、自分の DANCE の表現の幅が広がっている事を感じます。

先月行われた DANCE EARTH FESTIVAL 2017 にも今回、EXILE THE SECOND は欠かせなかったですし、今回のセカンドのツアーにも DANCE EARTH PARTY は、自分の表現として欠かせない存在だと思い、EXILE THE SECOND メンバーにも DANCE EARTH PARTY メンバーにも相談させてもらったところ、快く受け入れて帯同してくれることが決まりました。

僕の『ROUTE DANCE』は、DANCE EARTH PARTY はもちろんですが、LIVE 一曲目から最後の曲までももちろん DANCE していますし(笑)、他のメンバーの ROUTE とクロスオーバーしてお届けしております。これ以上言い過ぎてしまうとネタバレになってしまうのでこの辺で(笑)。DEEP や Leola ちゃんも帯同する、本当に豪華なツアーになっておりますので、どうか自分の踊り様、そしてみんなの ROUTE を感じて見ていただけたらうれしいです！

そして 2017 年も残すところ2カ月です！ 4月に入学した早稲田大学院の勉強も大詰めです！ スポーツ科学研究科でのスポーツビジネスの勉強がこれからの DANCE を考える上で、とても重要となる素敵な経験になっております。2020年には東京でオリンピック・パラリンピックを迎える前にスポーツ競技の仕組みや、考え方、それを盛り上げるためにはどうすれば良いかなど、多角的に勉強できていますし、スポーツ界とエンターテインメント界のクロスオーバーにはまだまだ可能性があるとも感じます。僕の人生の中で勉強がこんなにも楽しいと感じるタイミングが来るなんて本当に信じられません(笑) そんなこともあるんですね。

僕がこの一年でやりたい研究のテーマは、中学校の保健体育でのダンス必修化における現代的リズムのダンスの研究ですが、それが未来への第一歩となり、E.P.Iの活動テーマの一つである DANCE の可能性を広げていくきっかけになればいいなと思いつつ、小さな一歩ですが、いつか大きな一歩になれるように、最後まで頑張っていきたいと思っておりますのでどうか温かい応援をよろしくお願いいたします。

(TOKYO HEADLINE vol.701 2017.11.13 発行号より)



19歳よりダンスを始め、EXILE PROFESSIONAL GYMにてインストラクターを務める。2007年に、二代目 J Soul Brothersのメンバーに抜擢され、2009年2月25日に、アルバム『J Soul Brothers』でメジャーデビューを果たす。そして、同年3月1日に EXILE 新メンバーとして加入し、2011年には、THE SECOND from EXILE としても活動を始める。また、個人活動として 2011年に月刊 EXILE にて、自身が所長を務める『EXILE パフォーマンス研究所』の連載を開始する。2013年、眠り of the year 2013「ベストネムリスト」の受賞を果たす。2014年4月、淑徳大学人文学部表現学科の客員教授に就任する。そして、2015年4月に EXILE USA が活動を行っている DANCE EARTH PARTY の正式メンバーに選ばれる。そのほか、役者としてドラマや舞台に出演するなど、さまざまな活動を展開し、エンターテインメントの可能性を広げている。

## 54 JAPAN MOVE UP WEST

### 第9回

#### 子供たちの為のチャリティーコンペ

#### 子供たちの為のチャリティーコンペとは。

『何らかのハンデを抱えている子供達が未来に希望を持っていないような社会であってはならない、そんな岡山であってはならない』という想いで、県内外で活動する有志、また企業が集まり、11月に開催しているチャリティーイベント。実行委員会を中心とした声かけにより、毎年150~200名が参加する。午前中にゴルフ、夕方からパーティーが行われ、その全てにかかる経費を参加者から募った寄付金でまかなう。そして出た利益は1円も残す事無く子供たちの為に使用し、寄贈するというチャリティー活動。



活動のご報告  
先月11月8日(水)に今年で9回目となる「子供たちの為のチャリティーコンペ」が開催された。日中はゴルフコンペ、夕方からパーティーという2部構成で、県内外から総勢160名の参加者が集まった。今年も特別ゲストとして、元プロ野球選手で現在は野球解説者の前田智徳氏、元プロサッカー選手で現在はスポーツキャスターの水内猛氏、岡山出身の現役プロボクサー清水聡氏も参加し、このイベントを盛り上げた。

今年も、貧困家庭の子ども達に食事を提供する「赤磐の子どもの家」「倉敷トワイライトホーム」。虐待などを受けた子ども達を支援する「NPO法人子どもシェルターモモ」に総額で100万円の寄付金が贈られた。余った寄付金で食料品などを毎月配達していく。実行委員会では、虐待や貧困などのハンデに負けず、全ての子どもが未来に希望を持てるように継続してサポートしていくとし、来年の開催準備を進めている。



子供たちのために私たちが今できることを。

岡山出身の女優・タレント

# 福井 柑奈

(ふくい かな)

岡山生まれの  
シンガーソングライター  
玉川 洋輔が聞く!  
第20弾

玉川洋輔 (以下、玉) : ファーストシングルに引き続き、2 作目となるシングル『travel』をリリースされましたがどんな曲ですか?

柑奈 (以下、か) : 『自分らしい旅をしよう』といった意味で『トラベル』というタイトルにしました。海や、未来もどこまでも青く広がっているよ!といったとても明るく前向きな曲になっています。自分自身も、もっと活動の幅を広げていきたいと、まだまだ未来は明るいぞ、青く広がる未来をずっと夢みながら自分だけの自分らしい旅をするぞ、そんな意味をこめて制作しました。

玉 : 先日、アイドルグループのボンバシ wtkk メイツを卒業されたということで、ソロ活動になってからはどうですか?

か : 今までグループでやってきて、人数が多い分すごく大変なこともありましたが、お互いがお互いを高め合うこともできていました。でもソロはそれがないのが大変。心の支えが (笑)。今まではみんなと一緒に絶対大丈夫!といったことも、ソロとなると誰にも頼れないので、自分を信じながらこれからも頑張っていきたいと思っています!

玉 : 音楽を軸にマルチに活動されている柑奈ちゃんですが、これからもっと挑戦していきたいことはありますか?

か : 喋ることが大好きなので、MC の仕事もガンガン挑戦していきたいですね。先日も大きなイベントで芸人さんと2人でMCをさせていただいたのですが、すごく楽しくて。でも本当に難しいし大変。ある TV 番組で、バラエティーの MC もさせていただいてるのですが、それでも人気芸人さんの横で常に勉強させてもらっています。プロの方から『ツッコミの間』や『アドリブ』など色々なことを学びながら常に頭に叩きこんで覚えています (笑)。そして日々新しいことにも直面していく中で、やっぱり『わからないことは聞く』、聞くということが 1 番大切だなと思います。

玉 : そういえば釣りもされるということで、岡山でも釣り番組に出演されていますよね?

か : そうですね。釣り番組に出演させていただくようになってから、釣りに行く回数もだいぶ増えました。結構普段から1人でも行きますし、めちゃめちゃ普通に釣りガールしてます (笑)。釣り仲間や、先輩方と行ったりする時は、色々教えてもらいながらやっています。釣りの番組の収録となると朝が早かったり、何時間も釣れないこととかザラがあるので、忍耐力はかなりつきますよ (笑)。



玉 : 普段から多忙な柑奈ちゃんですが休日やプライベートはどんな過ごし方をされていますか?

か : 普段は結構インドアで引きこもり (笑)。自宅にこもってアニメ見ます。アニメ大好きなので! 休みの日は体を休める日だと思っているので、釣りに行くか家に引きこもるかですね。しっかり休養をとって、仕事を頑張ろうと思っています。

玉 : これからも岡山を盛り上げていきたいと思いませんか?

か : もちろんです!これから岡山での活動も、もっともっと増えたら嬉しいです。やっぱり岡山県出身なので、岡山県を代表する人になりたいです。岡山県といえば『福井柑奈』みたいな (笑)。



わからない事を  
わからないまま  
終わらせない。

## Interviewer

玉川 洋輔 シンガーソングライター

1stシングル「雨」発売中!二度と繋がれない君を想い続けるもう叶わないとわかっていても。儂くも切ない極上のバラードソング。

facebook・Twitter・Instagram:  
玉川洋輔で検索



## Guest

福井 柑奈 ふくいかな (写真 右) 女優・タレント

1992年11月6日 AB型 岡山県岡山市出身、146cm B78/W58/H80  
週刊ヤングマガジン 2014 準 GP・週刊 FLASH2014 第3位・岡山湯郷温泉観光大使

ameba @<http://ameblo.jp/kanna-fukui/>

リリース情報 : 2017年6月より最新曲「Travel」iTuneStore ほか配信サイトにて発売中  
・RSK テレビ「爆釣 Fish バレード」、サンテレビ「ケンコバのBAKO2TV」出演中

Passerelle  
entertainment

撮影 : Ryo Oonishi  
Instagram : @Passerelle\_entertainment



黒川 隼旬 Kurokawa Jun (写真左)  
表町肉焼処『黒場』オーナー  
岡山県出身 1978年12月15日生



Interviewer: BAZ-K (写真右)  
株式会社バズクリエイション代表取締役

03 interview

Rise!  
JAPAN MOVE UP WEST NEXTER

BAZ-K(以下、B): 焼肉店をはじめた経緯は何ですか?

黒川隼旬(以下、黒): 少年時代、裕福な家庭ではなく、初めて焼肉を食べたのが18歳くらいでした。食べた時にこんなにおいしい食べ物があるんだ!と感動し、その時から、一番好きな食べ物が焼肉になりました。焼肉屋を開こうというのは、当時は全然考えたりしてなくて。焼肉屋をする以前は全然違う仕事をしていて、2年前辞めた時に一年以内に焼肉屋をしようと決めました。勉強するためにいった焼肉屋さんが今の僕の師匠ともいえる方のお店です。

B: 店名『黒場』の由来や込めた思いなど教えてください。

黒: 苗字が黒川っていうのもあるんですけど、黒場という店名にしようと思ったのは本当に迷いもなかったです。店づくりを始めるよりも以前から店名は決めていました。ロゴのイメージも何となく湧いていましたね。

B: 僕は黒場のハラミとネギ塩タンが大好きですが、お店のおすすめメニューはありますか?

黒: お客様にもたまに聞かれますが、全部の食材に対して一生懸命仕込みをしているのでどれが一番とかはないですね。なので、来ていただいたお客様が自分の一番を見つけてくれたらいいなと思っています。

B: 地元岡山でお店をして良かったことや感じたことはありますか?

黒: 生まれ育った地でもあるから、岡山はほんとに好きですね。子供の頃の表町は、すごく栄えていて人もたくさんいました。その頃のような街にもう一度したいと思っています。

B: 一緒にいて話を聞いたりしていると、地域の人にフレンドリーに接する感じとか本当にこの町が好きなんだと感じる瞬間があります。なんかやりましょうよ!という漠然としたものではなく、ちゃんとお金を落として町の活性化に繋げて行動しているなと感じました。僕もそうなのですごく共感できる部分です。

B: 今後の夢や目標を聞かせてください。

黒: 自分がやりたいと思ったこと好きなことを仕事にしたいという思いが大前提にあって、今考えているのは夜喫茶をすることです。母親が喫茶店をしていたのも大きいかもしれないです。

B: 少し話を聞いていたけど僕は、夜喫茶をひらく想いにすごく熱いものを感じましたね。まだ今は、詳しく語れないですけど。

黒: 情報解禁は、お待ちください(笑)。母親が使っていたグラスとかもそのまま使いたいと思っていて新しいけど母親の喫茶店イズムを継承してどこか懐かしいお店に出来たらと考えています。

B: なるほど。では、夢はどうですか?

黒: 周りで支えてくれている仲間・友達そして家族が本当に大切に常に恩返ししたいと思っています。海沿いにコテージのような皆が泊まったり集まったり楽しめるような場所を作ることが夢です。いくつになっても皆と全力で遊びたい!(笑)

B: いいですね。いくつになっても遊ぶために本気で仕事にも取り組みますよね。

黒: そういうことです!色んな世代が集うコミュニティの場所って自分の刺激にもなるし、すごく大切だと思っています。

B: コミュニティって本当に大切ですね。コミュニティは僕たち経営者にとって最高の財産です。

表町肉焼処『黒場』オーナー

黒川 隼旬

Kurokawa Jun



家族、仲間は最高の財産。常に感謝の気持ちで溢れています。

表町肉焼処『黒場』

【営業時間】18:00~0:00

【定休日】水曜日

【住所】岡山市北区表町2-5-32

【連絡先】086-222-5558

【駐車場】近隣パーキングをご利用下さい。

# 自分が好きなことだから 1番になる。

プロBMXライダー

# 佐々木 元

Sasaki Moto

1985年5月生まれ。千葉県松戸市在住。BMX競技の中でスピンやジャンプ、華麗なトリックを競うフラットランドという競技で世界を舞台に戦うライダー。史上最多8度の全日本選手権ラウンド優勝記録を持ち、2010年、2011年にはBMX界で最も権威のあるアワード“NORA CUP”をアジア人初の2年連続で受賞した。世界的有名なMonster Energy所属ライダーとしてX-LARGEやLUMINOX等多くのスポンサーに支えられながら、再び世界一になる事を目標に活動中。2016年度『世界ランキング5位』

——なぜ時計を選ばれたのでしょうか？

結婚指輪も普段BMXに乗るときは外しています。手に指輪があると固くて何か引っかかったり、プレスレットやネックレスは動きますし、服装も大きめだと遠心力で膨れ上がったり下が見えなかったり。時計ってBMXライダーにとって唯一のおしゃれで一番テンションをあげてくれるものなんです。

——BMXをはじめた経緯、魅力を教えてください。

体を動かすのは好きで、高校のときケガで部活をやめた後も公園にあるジムに自転車で通ってました。帰りに公園でBMXをしている人がいて、それを見たときに“自分が持っている自転車であんなことしてる”ってすごく衝撃が走りました。それまで知らなかったのですが普段愛用していた自転車がBMXでした(笑)。向こうから声をかけてくれて、一緒に技を教えてもらうようになりました。BMXが楽しくて、練習場の公園も高校の近くだったので夜中まで練習して、家に帰る時間をもたないで、そのままみんなで野宿して高校行ってみたいな生活で本当にのめり込みました。一つ一つの技が決まった時に本当に嬉しくて、自分が上手くなる瞬間が明確なのが魅力でした。

——自身の人生で挫折したことはありますか？

たくさんしました。最初は後一步でプロになれるときに高校で一度夢を断念した原因である持病のヘルニアが再発しました。もうBMXもやめようと思い、BMXも手放しました。1年後くらいに気晴らしに旅行に行き、途中BMXの仲間に会いに大会へ出場しそのまま優勝、一発でプロに上がりました。その時に紹介してもらった方にヘルニアを直してもらって今も乗れる状態になって本当にラッキーが続きました。その後も、無名な自分が世界戦に出て13位になったりと一気に評価をいただいたのでそれから世界の見目が厳しくなってそこからまた挫折です。究極のオリジナル技が無いと勝てないと思いついて、閃いたのが“モトスピン”です。もうBMXしかなかったのでもつらいという感覚でなく自分が好きなことだから1番になりたい、自分が好きなことを失いたくなかったという想いでした。

——世界一を経験、その後の日本への印象や反応を教えてください。

モトスピン披露で優勝できるようになり、世界一も経験させてもらったりしましたが、世界一を獲ったときのトロフィーが大きくて“担いで帰るのが恥ずかしい”と思ってしまいました。鞆に入らないからゴミ袋に入れて帰国したときにそれが凄く切なくて。海外と日本のBMXの反応を改めて痛感して、帰国しても取材なんか来る訳でもなく、ただ大きなトロフィーを持って帰っただけでした。それで自分が日本のカルチャーを変えないといけない、世界一になったここからがスタートだと思いました。

——11月18日は岡山でRise! street イベントに出演いただきました。ショーやイベントに出演するとき意識されていることはありますか？

プロはファンを多く連れてくるのが大切だと思います。いくらお金を稼いでいようと、いくら良い成績が獲れていようと、応援してくれるファンの人がいないと始まらない。みんながBMXを取り上げないといけない状況を作らないとダメだと思います。だからショーの打ち合わせでなくショーが終わった後の打ち合わせをしています。ショーの後にステッカーを用意して、見てくれたお客さんにサイン大会を開いて触れ合う時間を設けてなど、その時間を一番大切にしています。

——最後に読者へメッセージをお願いします。

好きなことはとことん好きであって欲しいです。自分が好きなことを誰よりも好きであつたら自然と上手くなる、それだけです。練習を休んでも、好きな寝ながらイメトレするんです。休みのときでも考えているか考えていないかって大きな差で、好きすぎて考えて考えてオリジナルが生まれるとか。技術的や大会で負けても、好きであればいいと思います。

# 誰にも負けたくない気持ち。原動力は、

——ボクシングをはじめた経緯を教えてください。

中学3年生の頃TV番組で“ガチンコファイトクラブ”という番組があって世間的にもボクシングブームが来ていました。そして、父親の同級生が倉敷にあるボクシングジムの会長をしていたこともあり自分もボクシングをやろうと思いはじめたのがきっかけです。卓球とピアノをしていてそこで培った動体視力・足のステップ・リズム感などボクシングに活かされています。高校に入学し、ボクシング部に入部しましたが、高校1年の冬で辞めました。それから9カ月ほどボクシングから離れて特にやることなく時間を持て余していました。そんな時に同じ高校でボクシングをやっていた先輩にたまたま再会し“今からまた、ボクシングをはじめても遅くないですか”と相談したところ“清水がやりたいと思うなら全然遅くないからやればいい”と言われて高校2年生の夏にボクシング部に復帰しました。

——ボクシングをしていて挫折したことはありますか？

高校3年生の時にインターハイ・国体・高校選抜という3つの全国大会に出場し、高校選抜・インターハイは初戦で敗退しました。二回全国で敗退して“もう、勝てないな”と感じたけど、その二回の敗退などで経験を積むことが出来ました。そして、最後の国体では、準優勝することができ、大学1年の時の国体では優勝しました。誰にも負けたくないという負けず嫌いの気持ちが原動力になり挫折しそうになったけどここまで来れたと思っています。

——五輪でのメダルにこだわりプロの道に進まなかった清水さんがプロ転向を決めたきっかけは何ですか？

2008年の北京五輪に出場した時に勝ったと思った試合が負けになりそれがすごく悔しくて悔いが残ったので、もう一度リベンジしたいと思いました。納得する試合をしていたらそこで引退していたと思います。ここでもやはり、負けず嫌いが功を奏し1回目のオリンピックで負けたからこそ次では絶対メダルを取りたいという気持ちになりプロに転向せずに2012年ロンドン五輪に挑戦しました。結果的に銅メダルを獲得することが出来ました。そこでアマチュアとしてののけじめがついて、燃え尽きたというような感覚でした。そのタイミングで今、所属している大橋ボクシングジムに声をかけて頂いてプロの道へ進みました。大半の選手は20代前半でプロ転向しますが、僕は30歳でプロ転向しました。遅いですが、モチベーション高く初々しい気持ちで毎日楽しくやっています。

——ボクシング界で初のクラウドファンディングを行って得たものや見えてきたものはありますか？

クラウドファンディングをすることによって地元の方に知っていただいて、いろんな広がりを持つようになったことは、大きいですね。ボクシングジムを応援してくださっている方たちが直接応援できる環境にもなったことはすごく良かったと思います。地元岡山になかなか帰れる機会がないんですけど、クラウドファンディングを通じて岡山から応援して頂いたり交流が出来る場を持つことが出来たことで、普段の練習のやる気にもつながりますすごくうれしく思います。来年末には、世界タイトルマッチに挑戦するべく今後は頑張っていきます。いつかは、岡山でタイトルマッチですね。

——岡山での思い出の場所がありますか？

地元は総社ですけど、高校が関西高校ということもあり車で市内を走っていても懐かしいなと思います。思い出の場所は、汽車公園(下石井公園)です。よく、友達と通っていました。

——夢に向かって努力をしている読者へメッセージをお願いします。

海外での試合では日本代表として、全国大会では岡山代表として、誇りをもって出場しているので、皆さんにも誇りをもって自分のやりたい道を進んでほしいです。負けず嫌い精神をもって諦めずに夢に向かって努力してってください。

プロボクサー

清水 聡  
Shimizu Satoshi

岡山県総社市出身、1986年3月13日生まれ。

2012年ロンドン五輪バンタム級 銅メダリスト  
東洋太平洋フェザー級 チャンピオン

photography : 宗村 和磨 (NEMURA FILMS)

# Rise!



02 interview

Rise!  
JAPAN MOVE UP WEST STREET

佐々木元

01 interview

Rise!  
JAPAN MOVE UP WEST STREET

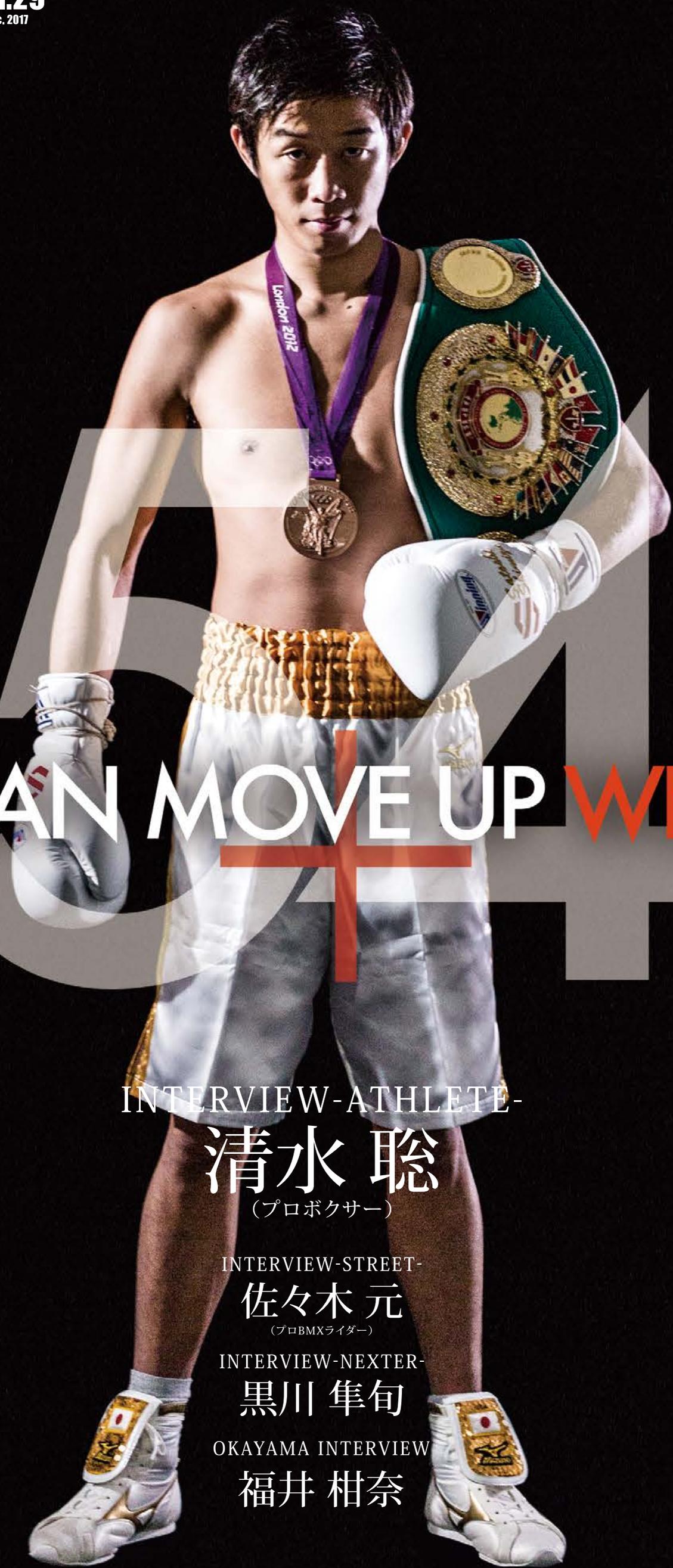
清水聡

03 interview

Rise!  
JAPAN MOVE UP WEST STREET

黒川隼旬

JAPAN MOVE UP WESTは更なる活動の浸透と広がりを実現するために、  
より具体的かつ大胆に様々なジャンルの“Rise!～上昇～”をバックアップしていきます。  
Rise!の先には必ず人間の生きる意味、生まれてきた意味が見えてくると確信しております。



# JAPAN MOVE UP WEST

INTERVIEW-ATHLETE-

清水 聡  
(プロボクサー)

INTERVIEW-STREET-

佐々木 元  
(プロBMXライダー)

INTERVIEW-NEXTER-

黒川 隼旬

OKAYAMA INTERVIEW

福井 柑奈